

2026年5月1日
株式会社和心
(証券コード: 東証グロース 9271)

和心及び連結子会社の4月の事業進捗レポートを公開

和心は、本日、当社の主要ブランド『北斎グラフィック』『かんざし屋 wargo』『箸や万作』等を展開するインバウンド MD 事業、和雑貨・アクセサリ・キャラクターグッズの OEM 製造を展開するアニメ・ゲーム MD 事業、連結子会社「マイグレ」が展開するサウナ&バケーションレンタル事業の4月における事業進捗レポートを公開しました(別添資料)。

■主なトピックス

● インバウンド MD 事業では、城崎温泉エリアへの初出店を含むおよび出店開発を計画どおり推進

4月の常設店舗全店売上高は、前年同月比142.5%、既存店売上高は同100.8%となりました。2026年2月より、メルローズマーケットの売上を取り込み、全店売上の前年同期比拡大に寄与しています。前年との単年比較では、2024年から2026年までの2年間で見ると既存店売上高は約127%増と着実な成長を遂げております。

訪日外国人客数は全体で361万8900人となり、過去最高を更新しました。前年比3.5%増です。桜や休暇需要により東アジアや欧米豪からの訪日客が増加し、累計1000万人を2年連続で突破しました。

新規出店については、4月29日に兵庫県の人気温泉地である城崎温泉において、初出店となる「城崎温泉 北斎グラフィック」をオープンいたしました。観光需要の取り込みにより売上は好調に推移しております。伝統的な和の要素と現代的なデザインを融合した店舗空間において、日常使いから特別な用途まで幅広い商品を展開しております。

● 店舗改装および観光需要の高まりによりメルローズマーケット マリン店の売上が好調に推移

4月は、当社子会社が運営する「メルローズマーケット マリン店」において、当社が培った店づくりおよび商品陳列のノウハウを反映した店舗改装を実施いたしました。改装後は売場の視認性や回遊性が向上し、購買意欲の喚起につながっております。加えて、観光シーズンの到来に伴い来店客数は堅調に推移し、桜シーズンによる観光需要の高まりも寄与したことで、店舗全体の集客力が向上いたしました。これらの効果により、4月の売上は前年比107.4%の速報値となり、好調に推移いたしました。

■ 新商品発表

『かんざし屋 wargo』

- ・花月兔一本簪-黒
- ・花月兔一本簪-翠
- ・花月兔一本簪-桃
- ・ichirin 玉簪 natural stone-ブルーアゲート
- ・ichirin 玉簪 natural stone-ダルメシアンジャスパー
- ・ichirin 玉簪 natural stone-ユナカイト
- ・ichirin 玉簪 natural stone-ピクチャージャスパー
- ・ichirin 玉簪 natural stone-ブルースポットジャスパー
- ・花月兔一本簪-紅
- ・花月兔一本簪-白
- ・ichirin 玉簪 natural stone-ピンクカルセドニー
- ・ichirin 玉簪 natural stone-クリアクォーツ
- ・ichirin 玉簪 natural stone-トパーズ
- ・ichirin 玉簪 natural stone-アフリカンブラッドストーン
- ・ichirin 玉簪 natural stone-ドラゴンブラッドジャスパー

商品詳細につきましては、PRTIMES をご覧ください。

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/10740

株式会社和心について

日本文化を取り入れたライフスタイル提案を通じて、国内外の人々が日本に触れる機会の創出と伝統文化・技術の継承の課題解決に寄与するべく、「北斎グラフィック」「かんざし屋 wargo」「簪や万作」「かすう工房」の和小物やアクセサリ、浴衣、サウナ・スパグッズ等のオリジナルブランドの企画・デザイン・製造・販売や EC サイト「The Ichi」の運営を中心に、他社製品の OEM 事業や子会社の宿泊事業も含めて幅広く事業を展開しています。

『日本のカルチャーを世界へ』というビジョンを大切に、日本で育まれたモノやコトを日本国内に再提案するだけでなく、世界に発信していくことを目指しています。

■会社概要

会社名：株式会社和心

証券コード：9271(東証グロース)

代表者：代表取締役社長 森 智宏

設立年：2003年2月

従業員数：177名(非正規社員を含む)

資本金：445,847,018円(資本準備金を含む)

事業内容：商品企画・デザイン・製造、店舗設計・運営、Webデザイン・ECサイト運営・コンサルティング事業

子会社：マイグレ株式会社 エス・ティー・エヌ伊豆株式会社

URL: <https://www.wagokoro.co.jp/>

ブランド情報: <https://wargo.jp/blogs/shop-list/index>

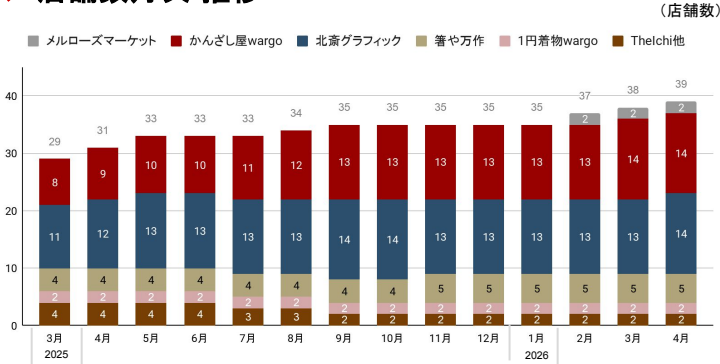
<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社和心 広報窓口

TEL:03-5785-0556

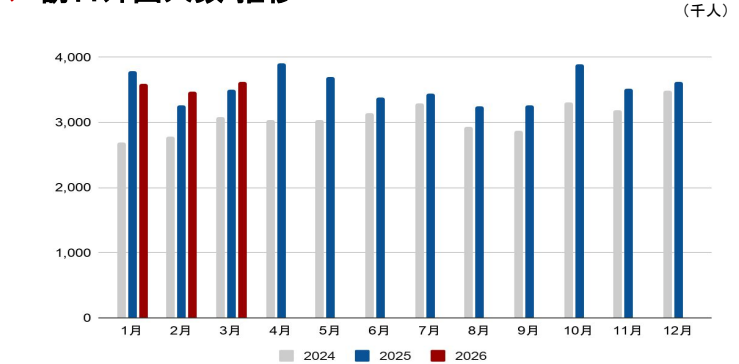
Email: press@wagokoro.co.jp

店舗数月次 推移 インバウンドMD事業※



※本レポートより 2026年1月末に事業継承したエス・ティール・エヌ伊豆株式会社 の 2店舗(メルローズマーケット)を追加しています。

訪日外国人数 推移



出典: 日本政府観光局 訪日外客統計より

月次売上前年同期比 インバウンドMD事業

2025年12月期

売上高	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	通年
全店	140.1	121.6	132.5	164.2	157.5	145.3	131.9	142.8	157.6	162.9	152.5	151.9	147.9
既存店	116.9	97.3	106.0	127.7	122.9	108.8	103.3	106.1	111.6	111.1	105.3	110.4	110.7

2026年12月期

売上高	1月	2月	3月	4月
全店	142.6	179.6	169.5	142.5
既存店	102.1	109.3	107.9	100.8

1) 単位: % (レジデータを基にした、監査前の売上速報・参考値ベース)
2) 26年2月からメルローズマーケットの売上を反映。また、既存店売上高前年同期比に関しては、同店舗の継承前実績を含めて算出。

インバウンド MD事業

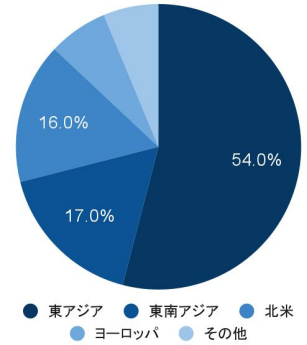
4月の常設店舗全店売上高は前年同月比 142.5%、既存店売上高は同 100.8% となりました。2026年2月より、メルローズマーケットの売上を取り込み、全店売上の前年同期比拡大に寄与しています。

また、4月29日には兵庫県豊岡市の城崎温泉エリア初出店となる『城崎温泉 北斎グラフィック』がオープン。国内外の観光客で賑わう街並みに調和した店舗にて、温泉歩きを「特別な体験」に変える粋な傘を提案いたします。次月以降のさらなる展開に向けた出店交渉も着々と進行中です。

主要国・地域別

順位	国・地域	3月速報	前年比
1	韓国	796	15.0%
2	台湾	653	24.9%
3	米国	376	9.6%
4	中国	292	-55.9%
5	香港	216	3.8%
6	その他	180	11.8%

地域別シェア



訪日外国人数の動向

3月の訪日客数は361万8900人となり、過去最高を更新しました。前年比3.5%増です。桜や休暇需要により東アジアや欧米豪からの訪日客が増加し、累計1000万人を2年連続で突破しました。

4月の主なトピック

【店舗情報】城崎温泉エリア初出店、『北斎グラフィック』が新規オープン



兵庫県豊岡市の城崎温泉エリア初出店として、和柄傘ブランド『北斎グラフィック』を新規出店いたしました。

国内外の観光客で賑わう温泉街において、浴衣での街歩きや外湯めぐりと親和性の高い商品を展開しております。観光動線上の立地を活かし来店機会の最大化を図るとともに、インバウンド需要の増加を背景に売上拡大を見込んでおります。今後の観光地戦略の強化につなげてまいります。

【かんざし屋 wargo】新作「花月兔一本簪」が登場



あたたかな陽だまりの中、咲き誇る花畑で遊ぶうさぎの姿をイメージした一本簪です。円いフレームの中でちょこんとお座りする立体的なうさぎのチャームと、柔らかな質感のマットアクリルで表現した花々を組み合わせ、春のような瑞々しい空気感をデザインに落とし込みました。揺れるたびにカットビーズやパールが繊細な光を放ち、まるで風に吹かれて花びらが舞い散るような、可憐で躍動感のある動きを演出します。

【かんざし屋 wargo】新作「ichirin玉簪 natural stone」が登場



『ichirin玉簪』シリーズから、天然石を用いた一本簪(かんざし)が登場。様々な色合いの天然石が個性豊かに髪を飾る簪です。同じ模様のない自然で出来上がった柄が特徴的な天然石を使用し、存在感のある簪に仕上げました。丈夫な真鍮軸は中華をイメージし蓮の花をあしらったデザインと、キラキラとした鉱物をあしらったデザインの2種展開です。真鍮軸は扱いやすく髪の多い方でも1本で簡単にまとめられます。

【その他情報】店舗改装と観光シーズン効果で道の駅事業が好調推移



4月は当社子会社「メルローズマーケット マリン店」において、当社が培った店づくりおよび商品陳列のノウハウを反映した店舗改装を実施いたしました。改装後は売場の視認性や回遊性が向上し、購買意欲の喚起につながっております。また、観光シーズンの到来に伴い、来店客数は堅調に推移いたしました。加えて、桜シーズンによる観光需要の高まりも寄与し、店舗全体の集客力が向上しております。これらの効果により、4月の売上は前年比 107.4%の速報値となり、好調に推移いたしました。